

## 指定管理者制度活用事業 評価シート

### 1. 基本事項

施設名称	川崎市北部身体障害者福祉会館及びわーくす高津	評価対象年度	令和5年度
事業者名	・事業者名 社会福祉法人 育桜福祉会 ・代表者名 理事長 萩原 利昌 ・住所 中原区西加瀬10-3	評価者	障害者施設指導課長
指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日	所管課	健康福祉局障害保健福祉部 障害者施設指導課

### 2. 事業実績

利用実績	<p>【北身館】 〔講習会・ボランティア育成事業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手話入門講習会(昼) 全7回 受講者20名</li> <li>・拡大写本入門講習会 全6回 受講者8名</li> <li>・音声訳入門講習会 全5回 受講者 10名</li> <li>・手話入門講習会(夜) 全7回 受講者16名</li> <li>・点字入門講習会 全5回 受講者12名</li> <li>・視覚障害者理解講習会「見えないってどんなこと」 全2回 親子9組</li> <li>・補助犬セミナー 全1回 参加者46名 等</li> </ul> <p>【作業室】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在籍数:生活介護 20名(定員20名) ※令和6年3月31日</li> </ul> <p>【わーくす高津】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・在籍数:就労継続B 24名(定員30名) ※令和6年3月31日</li> </ul>																																																										
収支実績	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: center;">身障会館・作業室全体 (円)</th> <th colspan="2" style="text-align: center;">わーくす高津 (円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2"><b>収入</b></td> <td colspan="2"><b>収入</b></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">85,293,799</td> <td></td> <td style="text-align: right;">42,700,987</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">委託料</td> <td style="text-align: right;">31,354,000</td> <td style="padding-left: 20px;">給付費</td> <td style="text-align: right;">37,047,865</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">給付費</td> <td style="text-align: right;">51,393,808</td> <td style="padding-left: 20px;">就労支援事業</td> <td style="text-align: right;">3,352,657</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">利用料</td> <td style="text-align: right;">1,300,367</td> <td style="padding-left: 20px;">その他</td> <td style="text-align: right;">2,300,465</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">その他</td> <td style="text-align: right;">1,245,624</td> <td><b>支出</b></td> <td style="text-align: right;">47,798,066</td> </tr> <tr> <td><b>支出</b></td> <td style="text-align: right;">73,358,515</td> <td style="padding-left: 20px;">人件費</td> <td style="text-align: right;">37,307,943</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">人件費</td> <td style="text-align: right;">58,991,523</td> <td style="padding-left: 20px;">事務費</td> <td style="text-align: right;">3,523,721</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">事務費</td> <td style="text-align: right;">5,171,129</td> <td style="padding-left: 20px;">事業費</td> <td style="text-align: right;">3,613,745</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">事業費</td> <td style="text-align: right;">4,815,587</td> <td style="padding-left: 20px;">就労支援事業</td> <td style="text-align: right;">3,352,657</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">事務局経費</td> <td style="text-align: right;">4,269,000</td> <td style="padding-left: 20px;">その他</td> <td style="text-align: right;">0</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">その他</td> <td style="text-align: right;">111,276</td> <td><b>差額</b></td> <td style="text-align: right;">▲ 5,097,079</td> </tr> <tr> <td><b>差額</b></td> <td style="text-align: right;">11,935,284</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			身障会館・作業室全体 (円)		わーくす高津 (円)		<b>収入</b>		<b>収入</b>			85,293,799		42,700,987	委託料	31,354,000	給付費	37,047,865	給付費	51,393,808	就労支援事業	3,352,657	利用料	1,300,367	その他	2,300,465	その他	1,245,624	<b>支出</b>	47,798,066	<b>支出</b>	73,358,515	人件費	37,307,943	人件費	58,991,523	事務費	3,523,721	事務費	5,171,129	事業費	3,613,745	事業費	4,815,587	就労支援事業	3,352,657	事務局経費	4,269,000	その他	0	その他	111,276	<b>差額</b>	▲ 5,097,079	<b>差額</b>	11,935,284		
身障会館・作業室全体 (円)		わーくす高津 (円)																																																									
<b>収入</b>		<b>収入</b>																																																									
	85,293,799		42,700,987																																																								
委託料	31,354,000	給付費	37,047,865																																																								
給付費	51,393,808	就労支援事業	3,352,657																																																								
利用料	1,300,367	その他	2,300,465																																																								
その他	1,245,624	<b>支出</b>	47,798,066																																																								
<b>支出</b>	73,358,515	人件費	37,307,943																																																								
人件費	58,991,523	事務費	3,523,721																																																								
事務費	5,171,129	事業費	3,613,745																																																								
事業費	4,815,587	就労支援事業	3,352,657																																																								
事務局経費	4,269,000	その他	0																																																								
その他	111,276	<b>差額</b>	▲ 5,097,079																																																								
<b>差額</b>	11,935,284																																																										
サービス向上の取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別支援を行うに当たっては、職員が共通した考えた方と支援を心がけ、人権と人格の尊重を念頭においてサービスを提供するとともに、法人職員行動計画を毎週1回全職員で読み合わせを行い、職員の意識向上を図った。</li> <li>・利用者からの意見、要望については、意見箱を設置することで意見の言いやすい環境を設定しているとともに利用者満足度調査を実施し、挙がってきた意見や要望については改善に向けて必要なアプローチを随時行っている。</li> <li>・屋外の防災用倉庫を新調し、これまで施設内各所に保管されていた防災用品を一か所にまとめて保管するとともに、保管物品等の精査を行うことで防災意識を高めた。</li> </ul>																																																										

### 3. 評価 (評価段階: 5~1,標準:3.加点割合: 5→100%,4→80%,3→60%,2→40%,1→0%)

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
総合的な運営状況	利用者への支援	利用者に対する支援を着実に実施しているか	10	4	8
		利用者の障害特性に応じた個別支援等を実施しているか			
	事業成果	基本協定に規定する業務の範囲を適切に実施しているか	10	4	8
		指定管理施設としての事業目的を達成することができたか			
	(評価の理由)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会館では、新型コロナウイルス感染症の5類引き下げに伴い、各部屋の利用定員を通常に戻して会館の貸出を行うとともに、引き続き手話入門講習会をはじめとする講習会を開催し、障害者福祉の啓発普及及びボランティアの育成を行った。</li> <li>・わーくすでは、一人ひとりの想いに沿った生活スタイルの実現に向け、利用者個々に丁寧に関わることで、生活上での利用者のニーズを把握した。また、生活課題のある方には、相談支援センターと連携し、生活についての支援を実施した。</li> <li>・作業室では、これまで不定期に日中プログラムとして実施していたドライブを月2回を目安に定例化し、自主製品の外部委託販売の納品や賞味期限の迫った防災食を子ども食堂へ寄付するなど、その時々状況に応じた目的をもって実施した。</li> </ul>			

収支状況	支出状況	計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	3
		支出に見合う効果等が図られているか			
	収入状況	計画通りの収入が得られているか	5	3	3
		条例に基づく利用料等を適切に徴収しているか			
	適切な会計手続	会計基準に基づく会計処理がなされているか	5	3	3
		事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			
(評価の理由) ・会計監査人監査を実施し、計算関係書類監査、財産目録に関する意見が主であるが、年間を通じた内部統制の評価や拠点の往査も行っている。					
サービス体制	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		利用者への支援を適時かつ十分に行っているか			
	サービス向上への取組み	現状分析、課題把握等を常に行っているか	5	4	4
		サービス向上に向けた取組みがなされているか			
	利用者の意見・要望への対応	意見・要望の収集方法を確立しているか	5	4	4
		利用者からの要望や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			
(評価の理由) ・個別支援計画の更新に当たっては、利用者と面談を実施し、面談内容を踏まえて職員が作成会議を行っており、その後に利用者及び利用者家族に説明等を行い、十分に意向を踏まえたうえで更新した。 ・手を繋ぐフェスティバルや、川崎産SUNフェスティバル等に参加することで自主製品の販売を通して地域との交流を図るとともに、利用者の個々の能力に応じ、活動の幅を広げるなど、サービス向上に向けて取り組んでいる。 ・苦情、要望について、各部屋に意見箱を設置していること、口頭の場合では、記録を取り、対応、報告を行い、また、苦情解決第三者委員を活用するなど、サービスの質の向上に取り組んでいる。その他、利用者満足度調査等の活用により利用者からの意見・要望を広く受け止め、集計結果については、会館入口等に掲示、公表し、業務の改善につなげている。					
組織管理体制	適正な人員配置	必要な人員が必要な場所に適切に配置されているか	5	3	3
	連絡・連携体制	所管課との連絡・連携が十分に図られているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修等が行われているか	5	4	4
	安全・安心への取組	事故、犯罪、災害等から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	4	4
		緊急時の連絡体制を構築しているか			
	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	4	4
	職員の労働条件・労働環境	スタッフが業務を適正に実施するための、適切な労働条件や労働環境が整備されているか	5	3	3
(評価の理由) ・防災委員会で訓練内容を検討し各防災役割の機能確認や、利用者の避難誘導の手順を確認するとともに非常時に備えた自衛策の周知徹底のために地震、火災、洪水予測による垂直避難等さまざまな状況を想定した防災訓練や、施設内の防災委員以外には内容を伝えずに抜き打ちでの防災訓練を実施した。 ・「ヒヤリハット・事故発生と事後対応マニュアル」「危機対応マニュアル」の内容に基づき、改善と意識向上のため、毎日の職員会議時に報告し、全職員に認識を共有することで、事故発生防止に取り組んでいる。また内部研修だけでなく、外部の研修にも参加し、職員のスキルアップに取り組んだ。					

適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	3	3
	管理記録の整備・保管	業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか	5	3	3
	清掃業務	施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか	5	4	4
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	5	3	3
(評価の理由) ・建物の老朽化による修繕の対応が遅れ安全が損なわれることがないよう、建物及び付属設備の安全点検とメンテナンスを年間計画に基づき実施した。 ・備品等については、作業担当職員が計画的に整備、整頓、補充を行った。					

#### 4. その他加点

分類	項目	着眼点	評価点
その他加点	市の政策課題への取組	第三者へ一部の業務委託を行う際の市内中小企業者の受注機会の確保・拡大や地域包括ケアシステムの構築に向けた取組への協力、障害者の法定雇用率を越える雇用などを行っているか	0
(評価の理由)			

#### 5. 総合評価

評価点合計	72	評価ランク	B
-------	----	-------	---

評価点合計:100点満点,標準点:60点

評価ランク:A~E/標準:C/A→80点以上,B→70点以上80点未満,C→60点以上70点未満,D→50点以上60点未満,E→50点未満

A→特に優れている,B→優れている,C→適正である,D→改善が必要である,E→問題があり適切な措置を講じる必要がある。

#### 6. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・わーくすでは生活スキルの向上に向けた取り組みの推進を目的に、生活学習会を2か月単位でテーマを決めて、定期的を実施しており、外に向けたテーマも多かったことから、外部研修の参加に繋げることができるなど、利用者のサービス向上が図られている。</li> <li>・作業室において販売会に積極的に参加し、販売機会の創出に努めた。またグループ外出などに際して、利用者の要望に対し迅速かつ適切に対応するとともに、目的の明確化を図るなど利用者の支援を適切かつ十分に行っている。</li> </ul>
---

#### 7. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、各事業において質の高いサービスを提供し、障害者の自立と社会参加の促進が実現されるように取り組んでいくこと。</li> </ul>
---